

国立研究開発法人国立循環器病研究センター契約監視委員会議事概要

第17回国立研究開発法人国立循環器病研究センター契約監視委員会が、平成28年6月20日（月）に、当センター応接室において開催されましたので、その議事概要について公表します。

開催日・場所	平成28年6月20日（月） 当センター応接室
委員 （敬称略）	委員長 竹山 健二（監事） 委員 片山登志子（監事） 委員 小山 登（公認会計士） 委員 妹尾 悟（弁護士）
審議事項等	1. 一者応札・応募事案フォローアップ票（平成27年度分）について 2. 競争性のない随意契約 3. 一者応札・応募 4. 落札率100% 5. その他 6. 今後のスケジュール
議事概要	○第16回契約監視委員会における意見等の対応状況について 1. 競争性のない随意契約とする基準について ・研究に関連するような特殊性の高い案件、1者応札がつづいている案件等については、一般競争から随意契約への移行を検討する。その際には、随意契約とする根拠やルールを明確化すること。 →個別具体的に判断せざるをえない面があり、ただちに一般的なルールを定めることが困難な面がある。 1者応札が複数年続く案件のうちメーカーが代理店を兼ねる場合については、関連業者に対してヒアリングを行い1者応札となった要因を分析し仕様の見直しを検討するとともに、慎重に検討のうえ真に競争が困難な場合は、随意契約とし、条件、価格等に関する交渉を実施する。 2. 研究に関する業務委託の経費節減に対する意見について ・研究に関係する契約で業務委託の内容の多くが他の契約と重複する案件については、研究者間の協力によって契約額が削減できるような方策について検討されたい。 →データ及び事務処理作業等の業務を一括調達するという可能性が考えられるが、研究事業においては、類似しているようにみえる業務であっても、それぞれの研究目的を効果的に達成

できるように仕様が決定される必要があり、一部分を切り離して契約することは困難な面がある。

また、別個に予算（委託費、補助金等含む）が措置され個別に調達を執行する必要があるという点からも、この方策の実現は困難な面がある。

上記のことから引き続き競争環境を整える方策を強化する。

【審議事項1「一者応札・応募事案フォローアップ票」（平成27年度分）について】

一者応札・応募事案フォローアップ票6件について審議

・特になし。

【審議事項2「競争性のない随意契約」について】

1. 審議案件

①平成27年度 39件 平成28年度 7件

2. 審議事項

①契約事由

②契約価格

③一般競争入札等への移行の可否

④改善方策

⑤法令等への適用の可否

3. 審議結果

・特になし。

【審議事項3「一者応札・応募」について】

1. 審議案件

①平成27年度 30件 平成28年度 2件

2. 審議事項

①競争性の確保のための改善方策

②仕様書の内容など具体的な条件の設定

3. 審議結果

・特になし。

【審議事項4「落札率100%」について】

1. 審議案件

①平成27年度 30件

2. 審議事項

①予定価格の設定

3. 審議結果

・特になし。

【審議事項5「その他」について】

- ・特になし。

【審議事項6「今後のスケジュール」について】

- ・次回第18回の契約監視委員会は平成28年10月17日（月）13時00分から開催する。

以 上

【問い合わせ先】

国立研究開発法人国立循環器病研究センター
契約監視委員会事務局（監査室）

電話06-6833-5012